

市政を問う

一般質問



奥村 忠俊議員
(日本共産党・あおぞら
豊岡市会議員団)

いじめを許さない決意が 必要だ



毎日のように報道されるいじめの実態

問 子ども
のいじめ事
件は、毎日
のように報
道されてい
る。特に福
島から横浜
に避難した
子どもの例
や新潟の例
など深刻だ。
豊岡市での
いじめ・不
登校は増え
ていると聞
くが現状および対応は

答 いじめは全国的にも
認知件数が増え豊岡市も
同じだ。10月末で小学校
12件、中学校18件、合わ
せて30件。内容はからか
いや悪口、無視が大半で
あり悪質な事例もある。
30件中4件が継続指導中
だ。子どもの声を聞きた
めに昨年まで学期に1回
アンケートを実施してい
たが、今年から毎月実施

している。30件中10件は
アンケートから教職員が
見つけ対応している。不
登校も増加傾向だ。電話
連絡、家庭訪問、個々の
状況に合わせた対応をし
ているがその際、職員間
で情報を共有し組織的な
対応をしている。

問 いじめられる方は悲
しい。「いじめられる方
にも問題がある」との声
もあるがそれは間違いない

いじめめる方が悪いに決
まっている。問題を隠さ
ない。いじめの発覚やそ
の兆候が見られたら、観
察ではなく即対応するこ
とが大切だが

答 そのとおりだ。事実
に学び子どもに寄り添い、
子どもの声を聞いていく。
教育の基本姿勢の中で取
り組む。

問 先生は忙しく、人数
も少ない。部活担当など
余裕がない。先生を増や
すべきだが

答 子どもの生活支援に
関する教員の加配もある。
市独自に不登校指導補助
教員を規模の大きい学校、
不登校の多い学校に配置
している。

「お菓子の館」の状況

問 2億円かけた施設だ
が経営はどうか

答 目的どおりに至らず、
見直しを申し入れている。



浅田 徹議員
(かがやき)

消火計画・火災予防、 ドローン活用等は

問 密集市街地の火災は、
強風や乾燥状況、建物構
造等により延焼拡大の可
能性は高くなる。その火
災対策として進めている
消火計画作成の進捗状況
および活用方法はどうか。
また、火災予防について、
官民挙げての取組みが大
事と思うがどうか

答 密集市街地の火災は、
強風や乾燥状況、建物構
造等により延焼拡大の可
能性は高くなる。その火
災対策として進めている
消火計画作成の進捗状況
および活用方法はどうか。
また、火災予防について、
官民挙げての取組みが大
事と思うがどうか

問 「ドローン」は、被
災現場を上空から確認す
るだけでなく、地形測量
まで可能と聞いており、

答 災害の初動対応や災害復
旧に効果があるのではと
関心を持っている。
今後、費用対効果も含
め、活用について検討し
たいと考えている。

問 広域農道の管理の間
題や課題をどのように把
握しているのか。市街地
東部のバイパスとして、
県道レベルに引き上げる
時期が来ている
と考えるがどう
か

答 交通量の増
加により、農道
の機能保全が困
難になり、維持
管理費や舗装等
の補修費も年々
増加しているた
め、県道の格上
げは必要と考え
ており、要望は
引き続き行って
いきたい。

問 城崎36街区、日高11
街区、出石24街区は計画
が完了した。豊岡につい
ては、52街区の調査が完
了し、残り44街区の調査
と並行して計画をまとめ
ている。29年度から順次、
消防団との協議を行い、
街区内の住民に説明した
後、消火活動や街区を対
象とした消防訓練に活用
したいと考えている。
また、予防活動につい
ては、ケアマネジャーに
加えて民生委員や自主防
災組織に協力をお願いし、
高齢者の見守り隊として
防火点検の充実を図りた



災害時の調査に「ドローン」の活用を！

問 交通量の増
加により、農道
の機能保全が困
難になり、維持
管理費や舗装等
の補修費も年々
増加しているた
め、県道の格上
げは必要と考え
ており、要望は
引き続き行って
いきたい。

市政を問う



青山 憲司議員 (ひかり)

防災・減災力向上は公助のハード整備から！

問 五荘小学校と豊岡北中学校間の避難路整備は、区長会役員他が発起人となり署名活動が実施された結果、有権者の半数となる4889人の署名が集まった。要望に対する当局の所見はどうか

答 整備には用地費、測量費等を除いて最低2億円〜3億円かかる。市道としての必要性は全くない。現地に即してどういう対応ができるのか検討すべきと考える。

問 基本構想の市民アンケートでは防災・減災力で特にハード事業の重要度は重要、やや重要が82.2%で、あ



近くて遠い避難路

まり重要でないのは3%だ。できる範囲を行政がやってほしいという願いがある。ハード対策事業は優先順位をつけてやっていただきたいがどうか

答 そのとおりだと思う。ただ要望個所の必要性は認めることができない。

問 行政が認識するハード整備の一番必要なところはどこか

答 順位はつけていない。予算を見ながら、国や県の支援策の採択状況も見ながら進めている。

問 要援護者の個別支援計画は整備率21.6%と聞くが何人できているのか。体制はとれるのか

答 対象は574人だが地域別の整備率であり人数はリンクしていない。不備は補っていききたい。

問 災害発生時の業務継続計画の策定状況は

答 非常時優先業務の整理がまだできていない。来年度から始めたい。



伊賀 央議員 (みらい)

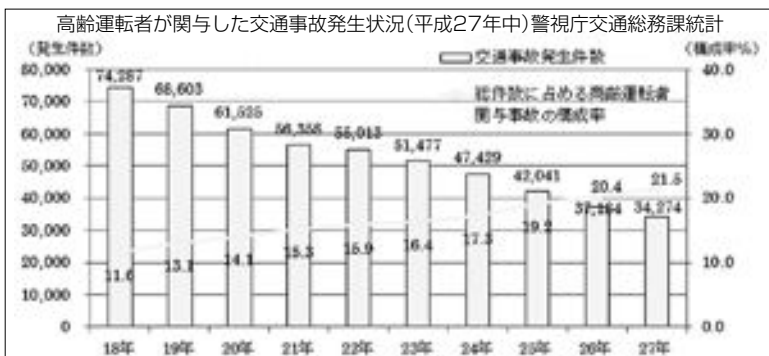
日高に病床を確保するため老健併設はどうか

問 病床が確保できれば一番いいが仮にドクター確保ができない場合の代替機能として老人保健施設はどうか。医療行為が行われるベッドで容体が安定するまで、重篤な状態に移つてもすぐ対応できる施設として病院組合と市で検討すべきだが

答 市も構成市の割り勘はくる。その観点からも議論の行方を見守り必要な検討はしたい。

問 免許のない人は実際の感覚を持ち得ない。アイコンタクトなどポイントのコツをまとめ実際の局面に即した安全という論点を市民にPRが必要だが

答 市広報等以外に交通安全の重点期間でキャンペーン等に、指摘のことが活用できるかと思う。検討したい。



年々増加する痛ましい高齢者の交通事故。対策の充実を！

問 高齢者免許返納には、後ろに大変な思いがある。タクシー運賃割引が本市はない。コバス回数券や定期の取り扱い、デイサービス1日体験券等自主

答 タクシーは何らかの経過で現在は適用されないが、県タクシー協会を通じ市内タクシー業者にも割引制度を設けてもらうよう話していると聞く。他の特典は要望等があれば警察につきなぎ一緒に検討したい。

問 市民の中で何げに感じているさまざまな不便がある。ちよつとした気づきを市民から公募し、改善できる提案をコンテストにし、かつ市も合理的配慮で対応するパッケージとして取組みを考えるべきだがどうか

答 市に障害者自立支援協議会がある。そこではさまざまな団体の方が出て意見交換もされる。協議会の取組みの一つとして、今提案のあった話をつけていけたらと思う。